

# おとめ 音十愛ちゃん の盲学校幼稚部入学をすすめる会 ニュース

発行日：2008年11月3日  
NO 1 号  
発行者：音十愛さんを高知県立  
盲学校幼稚部への入学  
をすすめる会  
連絡先：(088) 873-9066

## ☆19日、26日「ひろめ市場」で街頭署名、 2回の署名で筆集まる！

10月19日16時から「音十愛さんの高知県立盲学校幼稚部の入学をすすめる会」の街頭署名を行いました。参加者は28名、署名数は414筆、カンパは4672円でした。

### 初めてマイクを握ったお母さん

「私の子どもは視覚障害を持ち、1歳過ぎから経管栄養になりました。3歳になったら盲学校幼稚部に入学できると思っていました。しかし、県教育委員会から「経管栄養は医療的なケアであるから入学できない」と言われました。3歳という成長発達の大変な時期に視覚障害の専門的な教育をぜひ受けられるようにしてほしい」と訴えました。



### 自転車を降りて、足を止めて

署名活動に参加した人たちが、11月3日のチラシを配りながら署名をお願いすると、多くの方々が署名に協力してくれました。

あるところでは行列ができ、チラシを読んで引き返して署名してくれた人や「用事が終わったら」と言って用事を済ませて書きに来てくれた人もいました。



### 参加者の感想

音十愛ちゃんのお兄ちゃんと私たちの息子が同級生です。

1時間、街頭署名にかかわって感じたことは、道行く人々の反応はそれぞれですが、最初関心を示さなかった人が「音十愛ちゃんはどこにいるの？」と聞かれ、音十愛ちゃんを見たたん「これは署名せないかん」と言って署名してくれました。そのあとの表情がとても優しくにこやかな表情で帰っていかれました。

そこで、私たち個人が強く感じたことがあります。それは、県民が医療的ケアの必要な視覚障害を持った人たちの現状を知ってほしい、専門的な教育は絶対に必要だ！ということです。

音十愛ちゃんが教育を受けられないという現状には驚きショックでした。だからこそ、このことに県民が関心を持って眼を向けていかなければならないと強く感じました。

私たちは、これからも音十愛ちゃんのこの問題に協力していきたいです。早く署名が集まり、高知県立盲学校幼稚部への入学が叶いますように皆さんの協力をお願いしたいです。



## ☆10月22日 高知県教育長への申し入れを行いました。

お母さんと全国障害者問題研究会高知支部、高知県母親運動連絡会、新日本婦人の会高知支部、福祉施設のコーディネーター、高知県高等学校教職員組合の代表11名が、当日までの集めた署名1798筆を持って申し入れを行いました。

県の教育委員会からは、中澤教育長と特別支援教育課長の出席がありました。教育長への申し入れは、音十愛ちゃんのお母さんからこれまでの経過を含めて切実な訴えがされました。申し入れを受けて教育長は！！

### （教育長答弁）

「入学を認めるときは、看護師を配置し、万全な体制でのぞむ。」

「音十愛ちゃんにとって、どうするのが一番よいのか検討するので時間をください。」

上記の答弁のように、教育長の姿勢は柔軟性があり、誠意ある答弁をいただきました。



## ☆他県の状況です。

### （和歌山県）

和歌山盲学校には、3歳のとき経管栄養でしたが、保護者の希望で幼稚部に入学した事例があります。看護師が配置されたのは、小学部5年生の2月で、それまでは、保護者が昼に（鼻から胃に通している管に栄養を）「注入」に来ていました。和歌山盲学校では、校内に「医療的ケア」委員会という会を作り、看護師の配置を学校全体で要求し、看護師配置に至ったそうです。現在中学2年生で在籍しています

看護師が配置されるまでは、朝家庭で注入してから登校し、昼は家族が来て注入し、2時下校。学校では水分補給はしなかった。行事のときは、家族にきてもらい水分補給をした。

看護師が配置されて、小学部6年生からは、水分補給もできるようになり、3時下校となったそうです。

### （香川県）

香川県立盲学校では、経管栄養の生徒が在籍していますが、看護師配置はされておらず、家族が毎日お昼に「注入」に来ているそうです。

香川県立ろう学校にも医療的ケアの必要な子が入学していますが、看護師が配置されています。